

## 1 訓練時における安全管理マニュアル【改訂版】（案）を修正するにあたって検討を要する事項

No.	ページ	項目	修正内容	修正理由	事務局対応
1	2	1(2)	(2)安全配慮義務を削除する。	「訓練時における安全管理マニュアル」に、法的な説明や判例などの説明が必要ではない。この内容は、報告書に止めておくべきである。	一般に組織は所属する職員に対して、安全配慮義務を負っているが、特に訓練時においては、より強く安全配慮義務が要請されることから、現状のとおりとする。
2	3	2(1)①	「自分の身体は自分で守る」ことの原則を明確化する。	安全管理の主体は、隊員一人ひとりであるため。	本項目は、訓練時における安全管理体制について記述したものであり、組織として安全管理に取り組むべき事項を列挙しているため、安全管理の主体が「各級指揮者及び隊員」となっている。また、「自分の体は自分で守る」ことの原則は、「1訓練と安全管理（1）訓練における安全管理の基本的な考え方」において記述しているため、現状のとおりとする。
3	3	2(2)①	この内容は例示のため、次のとおり役職名称の二重化を検討してもらいたい。 ①所属長（総括訓練指揮者）→（訓練責任者） ②総括安全主任者→（訓練主任指導者）を加える ③大規模訓練安全主任者→（訓練指導者）を加える。	役割の中に、安全管理だけでなく、訓練指導を入れてもらいたい。 ※役職名称の二重表記と役割についての追加の理由は、次のとおりである。 訓練には、安全管理者を配置するのではなく、「安全管理も指揮者や隊員が習得すべき消防技術と知識である」との考え方から、安全管理者の代わりに訓練指導者を配置するという考え方があってもおかしくないと思う。 つまり、訓練指導者は物的危険要因や人的危険要因を監視するという安全管理員の役割に加えて、その危険要因に対して、指揮者や隊員が配慮していないときは、その危険要因に対する安全管理を指導するという役割を持つものである。 したがって、役職名称の二重表記と役割についての追加を検討してもらいたいと思う。	「訓練時における安全管理に関する要綱」（昭和58年7月26日付消防消第90号）に基づき例示しているため、現状のとおりとする。  ※役職名称の二重表記については、当該要綱では想定されていない事項も含まれており、本マニュアルを参考として各消防本部等で対応すべき事項としてはどうか。
4	5	3(1)②	「安全な姿勢で行い」を削除する。	具体的に「安全な姿勢」に関する説明がなく、単なる訓示規定となるため。	「安全な姿勢」に関する具体的な記述はないものの、例えば高所では低姿勢で作業を行うなど、状況に応じた安全対策が図られるよう注意喚起を意味するものであり、現状のとおりとする。

No.	ページ	項目	修正内容	修正理由	事務局対応
5	14	2(1)	「熱中症対策」を広義的に「訓練を実施する場合の隊員管理又は訓練環境への対応」として論ずるではないか。	訓練は各種災害に対する活動技能及び部隊活動力の向上させることを目的に行っており、当然として酷暑・酷熱、厳寒、風雨等の気候環境の中でも訓練を行うことになる。これらを踏まえると「熱中症」に特化するのはいかがでしょうかと思わざるを得ない。	近年、熱中症に起因する事故が多発しており、消防庁において夏季シーズンを前に各消防本部等に対して注意喚起をしている状況である。このことに鑑み、先般発出した警防活動時等における安全管理マニュアルにおいても、熱中症対策に関する項目を新設したところである。また、訓練時においては、安全配慮義務が強く求められ、より一層の熱中症対策を図る必要があることから、現状のとおりとする。
6	112	1(1)	要救助者の襟をつかんで引きずり救助する → 救助者2名で徒手にて搬送する	救出時は、救助者2名で徒手にて搬送するものであるため。	消防救助操法の基準によれば、検索救助訓練において要救助者を救出する場合は、引きずり救助により救出することとされているため、現状のとおりとする。 ※各消防本部等における活動方法の差異に応じた記述は、本マニュアルを参考として各消防本部等に対応すべき事項としてはどうか。
7	113	1(3) ・検索救助訓練(1)	「①要救助者の襟をつかむ時は、首を締め付けられないようにする。」を削除	救出時は、救助者2名で徒手にて搬送するものであるため。	
8	113	1(3) ・検索救助訓練(2)	「①要救助者の襟をつかむ時は、首を締め付けられないようにする。」を削除	救出時は、救助者2名で徒手にて搬送するものであるため。	
9	114	2(1)	「空気呼吸器を着装する余裕がない場合に」を削除する。	空気呼吸器を着装できない場合には、隊員を進入させない。このマニュアルは、「安全管理のマニュアル」である。したがって、訓練時においては、安全管理上、災害時の二次災害防止のため、絶対に実施してはいけないことを教えないといけない。	消防救助操法の基準によれば、緊急救助訓練は、空気呼吸器を着装する余裕がない場合に実施することを想定して定められているため、現状のとおりとする。 ※各消防本部等における活動方針等の差異に応じた記述は、本マニュアルを参考として各消防本部等に対応すべき事項としてはどうか。
10	116	1(1)	倒壊木造建物救助訓練使用資機材を「舟型担架」とする。	一般的に普及して使用している担架は舟型担架であるため。	救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令によれば、救助隊等が装備する担架は平担架とされているため、現状のとおりとする。  ※各消防本部等の保有する資機材の差異に応じた記述は、本マニュアルを参考として各消防本部等に対応すべき事項としてはどうか。
11	116	1(2)	担架 → 舟型担架		
12	118	2(1)	倒壊木造建物救助訓練使用資機材を「舟型担架」とする。		
13	118	2(2)	担架 → 舟型担架		
14	118	2(2)	救助用支柱器具、ダイヤモンドチェーンソー、エンジンカッターを追加する。		救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令によれば、救助用支柱器具、ダイヤモンドチェーンソーは、地域の実情に基づき装備するものとされているため、現状のとおりとする。 ※各消防本部等の保有する資機材に応じた記述は、本マニュアルを参考として各消防本部等に対応すべき事項としてはどうか。

## 2 訓練時における安全管理マニュアル【改訂版】（案）を修正した事項

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
1	本マニュアルを活用するにあたって	1	…安全管理知識向上のため…	…安全管理に関する知識の向上のため…
2	本マニュアルを活用するにあたって	マニュアルの構成	訓練時における安全管理に対する基本的な考え方、安全管理体制、訓練計画・安全管理計画の策定等について記載	削除
3	本マニュアルを活用するにあたって	マニュアルの構成	訓練の実施手順、隊員の心構え、日常の安全管理教育、指揮者の心構え等について記載	削除
4	1	1(1)①	適切な対応ができる臨機の…	対応ができる臨機の…
5	2	1(1)⑦	…常に災害を想定した訓練を行う。	…災害を想定した訓練を行う。
6	4	2(3)①イ	転向を考慮した…	気象条件を考慮した…
7	4	2(3)②ア	機器の緒元性能…	機器の諸元性能…
8	5	3(2)①エ	上位の裾は…	上衣の裾は…
9	6	3(3)①イ	資機材の員数、機能を…	資機材の数量、機能を…
10	6	3(3)②イ	服装及び個人資機材…	服装及び個人装備…
11	6	3(3)②ウ	安全副主任者の配置場所を…	安全副主任の配置場所を…
12	7	3(4)①キ	…又は行動を規制する。	…又は行動を規制し、安全管理に関して指導する。
13	7	3(4)②	コ …	ケ …
14	8	4(1)②	…安全副主任者が配置されている時は安全副主任者が実施する。…	…安全副主任が配置されている時は安全副主任が実施する。…
15	10	1②	…能力等をよく把握し…	…能力等を把握し…
16	10	1⑥	…向けて期を分けて段階的に…	…向けて訓練期間を分けて段階的に…
17	10	2②	…数種の訓練を競合して実施する時は、各種目ごとに…	…数種の訓練が混合して実施する時は、種目ごとに…
18	10	2⑤	…及び安全副主任者を明記し、…	…及び安全副主任を明記し、…
19	10	1①	…当たっては、消防活動を前提とし、過去の災害事例を…	…当たっては、過去の災害事例を…
20	11	1①	…各種災害現状を分析し、…	…各種災害の状況を分析し、…
21	11	1①	…災害を予測し、目標を立てることが…	…災害を予測し、その災害の状況に応じた訓練の目標を立てることが…
22	11	1③	…より高度の訓練目標を…	…順次高度の訓練目標を…
23	11	2(2)	(2) 適切な訓練時間	(2) 訓練時間
24	11	2(2)③	訓練指導者は、訓練の…	訓練指揮者は、訓練の…
25	11	2(2)④	災害が突発的に発生することに鑑み、夜間における…	夜間における災害発生に備えた
26	12	3①	…迅速性よりも着実な行動を…	…迅速性よりも安全・確実な行動を…
27	12	3③	…正確にしかも迅速に操作が…	…安全にしかも迅速・確実に操作が…
28	12	3④	…見学し、同じ失敗を繰り返すことがないように見取り訓練を行う。	…見学し、訓練の目的、実施要領、留意事項等をきり限り習得するよう努める。

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
29	12	4(1)①	…個人技能（知識）を練成し、…	…個人技能（知識）を錬成し、…
30	12	4(1)①	…における事故の任務と…	…における自己の任務と…
31	12	4(1)②	② 部分訓練（個人又は他隊員との協力）	② 部分訓練（隊員個人による器具操作訓練）【例：空気呼吸取扱訓練・結索訓練等】
32	12	4(1)③	③ 基本訓練（基本操作等）	③ 基本訓練（単隊による基本訓練）【例：ポンプ車操法訓練・三連はしご取扱訓練等】
33	12	4(1)④	④ 活動訓練（連携、想定訓練）	④ 活動訓練（単隊による応用訓練）【例：応急はしご救助訓練・検索救助訓練等】
34	12	4(1)④	…自己隊の任務遂行と他隊との…	…自己隊の任務遂行及び他隊との…
35	12	4(1)⑤	⑤ 総合訓練（各種想定訓練）	⑤ 総合訓練（中隊・大隊等による想定訓練）【例：中高層火災想定訓練・NBC災害対応訓練等】
36	13	1③	…何らかの制御を…	…何らかの役割を…
37	13	1⑥	指差呼応の徹底を…	指差呼称の徹底を…
38	14	3③	…考え合い、理解しあう。	…考え合い、理解し合う。
39	18	1	1 筒索操作訓練	1 筒先操作訓練
40	19	1(3)⑦	…する時は、前傾姿勢をとり、体重を前方に置き放水圧力による…	…する時は、体重を前方に置くように前傾姿勢をとり、放水圧力による…
41	19	1(3)⑩	…放水中は、足下が…	放水中は、周囲の状況に配慮して注水するとともに、足下が
42	19	1(3)⑮	…確実に連携動作をする。	…連携動作を行う。
43	20	2(3)①	…収納する時は、つまぎや…	…収納する時は、周囲の状況に配慮するとともに、つまぎや…
44	21	2(3)⑧	…収納時には、ロープの結着を確実に行うとともに、途中階の…	…収納時には、誘導ロープを使用するとともに、ロープの結着を確実にを行い、途中階…
45	22	3(3)②	確認し、十分な余裕をとる。	確認し、衝突を防止する。
46	22	3(3)②	…車両後方の障害物の有無を…	…車両後方及び下方の障害物の有無を…
47	23	3(3)	追加	⑪ 傾斜路においてホースカーをえいこうする時は、前操車員及び後操車員は相互に連携し、積載ホースの落下や過度の加速に注意する。
48	23	3(3)	追加	⑫ 電動ホースカーを操作する際は、前進・後退のスイッチの誤操作に注意する。
49	25	4(3)	追加	⑬ 吸管を消火栓から離脱は、吸管内部の圧力が完全に抜けたことを確認した後に行う。
50	25	4(4)①	…負傷（骨折）した	…負傷（骨折）した。
51	26	5(3)④	…とび先を前下に向けて…	…とび先を前方の下に向けて…
52	28	1(3)④	…乗車して固定物を握り、…	…乗車して手すり等の固定物を握り、…
53	28	1(3)⑤	…まで発信しない。	…まで登進しない。
54	29	1(3)⑫	…ホース凹筒等…	…ホース延長等…
55	29	1(3)⑮	…を保持するように配慮する。なお、…	…を保持する。なお、…
56	29	1(3)※	…及びと口操作に…	…及びとび口操作に…
57	29	1(5)①	走り、ホース長以上に…	…走り、ホースの長さ以上に…

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
58	30	2(1)	…ため、ポンプ車を使用して…	…ため、 <u>小型ポンプ</u> を使用して…
59	30	2(1)	…操作等、ポンプ車操作法に…	…操作等、 <u>小型ポンプ</u> 操作法に…
60	30	2(3)③	…かつ安定する用スライド…	…かつ安定するようスライド…
61	31	2(3)⑦	…ホース <u>円筒</u> 等…	…ホース <u>延長</u> 等…
62	31	2(3)⑩	…を保持するように <u>配慮</u> する。なお、…	…を保持する。なお、…
63	31	2(3)※	…及びと口操作に…	…及びとび口操作に…
64	31	2(4)②	ホースを半延長する	…ホースを延長する…
65	31	2(4)②	…移動して <u>いま</u> い…	…移動して <u>しま</u> い…
66	35	1(3)	追加	⑩ バスケットから対象物に乗り移る時は、防火衣等が操作レバーに引っ掛からないようにする。
67	35	1(3)⑭	…習熟度及び使用限界を超えて…	…習熟度に応じて行い、かつ、使用限界を超えて…
68	35	1(3)⑳	⑳ リフターに搭乗する時は、リフター用安全バンドを確実に止め金にかけて固定物を握り、リフターの安全レバーを確認する。	⑳ リフター又はバスケットに搭乗する時は、安全帯を確実に止め金にかけて固定物を握り、リフターの場合は、安全レバーを確認する。
69	35	1(3)㉑	㉑ リフターは、許容荷重を超えて搭乗させない。	㉑ リフター又はバスケットは、許容荷重を超えて搭乗させない。
70	35	1(3)㉒	…誘導連絡は、インターフォン及び手信号で…	…誘導連絡は、インターフォン又は無線機及び手信号で…
71	36	1(3)	追加	⑳ ジャッキ及びアウトリガーを収納する時は、隊員が巻き込まれないよう監視する。
72	38	2(1)	…及びリフター昇降等…	…及びバスケット昇降等…
73	38	2(3)③	…基準各度以上に…	…基準角度以上に…
74	38	2(3)④	…交替する時は、インターフォンで確認した後に…	…交替する時は、インターフォン又は無線機で確認した後に…
75	38	2(3)⑤	…操作をする時は、インターフォンにより…	…操作をする時は、インターフォン又は無線機により…
76	41	1(4)③	…行っていたところ、…	…行っていたところ、…
77	44	3(2)	…ダクト…	…ダクト…
78	46	1(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
79	47	1(5)①	…丸い試材が、…	…丸い資材が、…
80	48	2(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
81	49	2(3)⑨	… <u>明確な合図</u> を励行する。	… <u>合図</u> により作業し、指の挟まれに注意する。
82	49	2(3)	追加	⑩ 切断後の切断物の飛散による負傷に注意する。
83	49	2(3)	追加	⑪ 本資機材が重量物であるため、搬送時の落下に注意するとともに、安定した体勢で取り扱う。
84	52	4(3)①	…ブロック、支柱を準備する。	…必要な <u>当て木</u> 、ブロック、支柱を準備する。
85	52	4(3)④	…で補強し、バックだけで支持されている時は、対象物の下に…	…補強した場合であっても、必要以上に対象物の下に…

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
86	56	1(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
87	57	1(3)⑥	…置かない。	…置かない。また、切断の火の粉がかかる位置に隊員を近づけない。
88	58	2(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
89	58	3(3)⑥	操作中は、前後に…	操作中は、飛散する火花の防御措置を講じるとともに、前後に…
90	60	3(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
91	60	3(3)②	追加	② 始動する前に点検を実施する。
92	62	4(1)	…又はエアコンプレッサからの…	…又はエアコンプレッサーからの…
93	62	4(2)	…エアコンプレッサー…	…エアコンプレッサー…
94	62	4(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
95	62	4(3)①	…着装する。	…着装する。また、状況に応じて耳栓、防塵マスクを着装する。
96	62	4(3)④	…圧力は、 <u>10キログラム</u> 毎平方センチメートル以下を…	…圧力は、 <u>1メガパスカル</u> 以下を…
97	62	4(3)⑥	…使用できるが、原則として…	…使用できるが、劣化を防止するため、原則として…
98	63	5(2)	…エアコンプレッサー…	…エアコンプレッサー…
99	63	5(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
100	63	5(3)①	…着装する。	…着装する。また、状況に応じて耳栓、防塵マスクを着装する。
101	63	5(3)⑤	…圧力は、 <u>8キログラム</u> 毎平方センチメートルを限度とし、…	…圧力は、 <u>0.8メガパスカル</u> を限度とし、…
102	63	5(3)⑦	…使用できるが、原則として…	…使用できるが、劣化を防止するため、原則として…
103	64	6(3)①	防塵眼鏡、皮手袋を着装する。	防塵眼鏡、防塵マスク、耳栓、革手袋を着装する。
104	64	6(3)	追加	⑥ 破砕した障害物により負傷することがないように周囲の状況に注意する。
105	64	6(3)	追加	⑦ 本資機材が重量物であるため、搬送時の落下に注意するとともに、安定した体勢で取り扱う。
106	65	7	7 携帯コンクリート用破壊器具	8 携帯用コンクリート破壊器具
107	65	7(1)	…場合等に携帯コンクリート用破壊器具（コンクリート、…	…場合等に携帯用コンクリート破壊器具（コンクリート、…
108	65	7(3)①	…皮手袋…	…革手袋…
109	65	7(3)①	…着装する。	…着装する。また、状況に応じて耳栓、防塵マスクを着装する。
110	66	1(4)	追加	② 舟艇を設定するため、船外機を搬送していたところ、前額部を船外機にぶつけ、負傷した。
111	68	2(1)	追加	圧縮空気式救命索発射銃の図を追加

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
112	68	2(2)	救命索発射銃（携帯式又は地上式）	救命索発射銃
113	68	2(3)	分割	・火薬式救命索発射銃取扱訓練 ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練 に分割
114	68	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練	追加	① 諸元、性能を確実に把握する。
115	68	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑥	…ものとし、 <u>発射までに時間的余裕がある時は、必ず安全装置を…</u>	…ものとし、 <u>装てん後は、必ず安全装置を…</u>
116	68	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑦	発射準備が完了するまでは、絶対に引き金に指を <u>かけない。</u>	発射準備が完了した後、引き金に指をかける。
117	69	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑨	…する時は、 <u>確保を完全に行い、反動による受傷を防止する。</u>	…する時は、 <u>反動による受傷を防止するため、確保を完全に行う。</u>
118	69	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑩	する時は、 <u>リードロープ収納容器を前方に置く等して、ロープが発射員に触れたり、絡まないようにする。</u>	する時は、 <u>リードロープが発射員に触れたり、絡まないよう、リードロープ収納容器は前方に置く。</u>
119	69	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑪	…ようにする。	…ようにする。 <u>また、耳栓を使用する。</u>
120	69	2(3) ・火薬式 救命索発 射銃取扱 訓練⑬	… <u>交換する。</u> 他の措置を行う時は、むやみに…	… <u>交換し、</u> むやみに…
121	69	2(3) ・圧縮空 気式救命 索発射銃 取扱訓練	追加	① 諸元、性能を確実に把握する。

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
122	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練	追加	② 高圧ホースの結合は確実にを行うとともに、空気圧の充てんは仕様範囲内とする。
123	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練	追加	③ 空気を充てんした後は、必ず安全装置をかけるとともに、銃口は上向きに維持する。
124	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練 ④	発射準備が完了するまでは、絶対に引き金に指をかけない。	発射準備が完了した後、引き金に指をかける。
125	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練 ⑥	する時は、リードロープ収納容器を前方に置く等して、ロープが発射員に触れたり、絡まないようにする。	する時は、リードロープが発射員に触れたり、絡まないよう、リードロープ収納容器は前方に置く。
126	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練 ⑦	…ようにする。	…ようにする。また、耳栓を使用する。
127	69	2(3) ・圧縮空気式救命索発射銃取扱訓練 ⑩	…安全装置をかけ、次の空砲と交換する。他の措置を行う時は、むやみに…	…安全装置をかけ、むやみに…
128	71	3(3) 簡易画像探索機取扱訓練 (1) ③	水中では使用しない。	水中で使用する場合は、防水ケースを装着する。
129	72	1(1)	…ためのループの基本的な…	…ためのループの基本的な…
130	73	1(3)	追加	⑩ 結索が解けることにより資機材等を落下させることがないように、結索後は必ず確認を行う。

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
131	75	2(3) 降下途中 の作業姿 勢③	輸送結びを行う時は、停止位置より…	作業姿勢をとる場合は、停止位置より…
132	77	3(1)	登はん訓練(2)、登はん者が両足の内側からそれぞれの足にロープを2本ずつ巻き付け、補助員の	登はん訓練(2)、登はん訓練(2)と同じ要領で登はん者の両足にロープを2回巻き付け、補助員の
133	78	3(3) 登はん訓 練(1)①	登坂する時は、…	登はんする時は、…
134	78	3(3) 登はん訓 練 (2)(3)(4) ①	登坂する時は、…	登はんする時は、…
135	79	3(4)④	…換えず、両足とともに…	…換えず、両手とともに…
136	81	4(3) 渡過ロー プの設定 ⑦	…行うため、プルージック結び等で控えを…	…行うため、プルージック結びで控えを…
137	81	4(3) モンキー 渡過⑥	…渡過、登はんするに場合は、…	…渡過、登はんする場合は、…
138	80	4(3) チロリア ン渡過⑧	カラビナに手を引き込まれないように注意する。	カラビナとロープの間に手を挟まれないよう注意する。
139	84	5(1)	…訓練は、確保対象から来たロープを…	…訓練は、確保対象からのロープを…
140	84	5(3) 肩確保訓 練	追加	③ 確保する隊員にとって過度な負担とならないようにする。
141	84	5(3) 腰確保訓 練②	…限度とする。	…限度とする。また、確保する隊員にとって過度な負担とならないようにする。
142	86	1(3)⑥	…際に、はしごをあおる等して、…	…際に、確保者がしっかり体重をはしごにかけるなどして、…
143	87	1(3)	⑧ 登てい及び降ていの際は、必ず確保者をつける。	削除
144	87	1(3)	追加	④ はしごを起ていする時は、架てい目標位置を考慮するとともに、隊員相互に連携して行う。
145	87	1(3)	追加	⑧ 基底部を移動する時は、はしごのバランスを崩さぬよう取手及びはしごの最下端部を対称に保持し、移動させる。

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
146	90	1(3)	追加	④ 周囲に安全マットを敷き、転落による負傷を防止する。
147	90	1(3)②	…なるべく体格の <u>優れた</u> 者を、…	…なるべく体格の <u>よい</u> 者を、…
148	91	2(3)	追加	⑥ 周囲に安全マットを敷き、転落による負傷を防止する。
149	91	2(3)②	…なるべく体格の <u>優れた</u> 者を、…	…なるべく体格の <u>よい</u> 者を、…
150	94	2(3)	追加	⑦ 救助ロープを手渡す時は、てい上で作業姿勢を取り、転落を防止する。
151	94	2(3)	追加	⑫ 要救助者を地上で確保した後、他の場所へ搬送する時は、救助ロープの確保が解除されていること及びロープがはしごに絡んでいないことを確認する。
152	97	3(3) はしご水平救助訓練(1) ⑧	…密着させる。	…密着させ、はしごの転倒を防止する。
153	97	3(3) はしご水平救助訓練(2)	追加	⑪ 担架を地上で確保した後、他の場所へ搬送する時は、救助ロープの確保が解除されていること及びロープがはしごに絡んでいないことを確認する。
154	98	4(3)	追加	⑨ 低所から吊り上げる時は、腰部に過度な負担を与えないようにする。
155	100	5(3) 救助ロープの設定 ②	…重いか担架使用の…	…重い担架使用の…
156	101	5(3) 救助ロープの操作等①	はしご車による応急救助訓練を実施する時は、 <u>確実な</u> 意思の…	確実な意思の…
157	101	5(3) 救助ロープの操作等①	…合図等はインターフォンを有効に…	…合図等はインターフォン <u>又は無線機</u> を有効に…
158	102	6(3) 緩降機による救出 ①	はしご車による多数救助訓練を実施する時は、 <u>確実な</u> 意思の…	確実な意思の…
159	102	6(3) 緩降機による救出 ①	…合図等はインターフォンを有効に…	…合図等はインターフォン <u>又は無線機</u> を有効に…

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
160	103	6(3) 徒手による救出①	はしご車による多数救助訓練を実施する時は、 <u>確実な意思の…</u>	確実な意思の…
161	103	6(3) 徒手による救出①	…合図等はインターフォンを有効に…	…合図等はインターフォン又は無線機を有効に…
162	104	1(3)⑤	…ロープの整理を徹底する。	…色分け等によりロープの整理を徹底する。
163	105	1(3)	追加	⑥ 損傷及び切損のおそれのある場所にロープ等が当たる場合は、 <u>あて布等でロープを保護する。</u>
164	105	1(3)⑩	…よう配慮する。	…ようにするとともに、腰部に過度な負担を与えないようにする。
165	106	2(3)⑦	<u>新入及び救出時…</u>	進入及び救出時…
166	106	2(3)⑦	進入及び救出時における手掌の危険防止に努める。	進入及び救出する時は、手掌を受傷しないようにする。
167	107	2(5)	(5)ヒヤリハット事例	削除
168	108	3(3)③	…ようにする。	…ようにし、はしごの転倒を防止する。
169	108	3(3)⑤	…徐々に行う。	…徐々に行い、滑車とロープの間に手が挟まれないようにする。
170	109	3(3)⑧	…よう配慮する。	…ようにするとともに、腰部に過度の負担を与えないようにする。
171	109	3(3)	追加	⑨ <u>地上部からの資機材の落下に注意する。</u>
172	110	4(3)	追加	⑨ <u>対象物を吊り上げる時は、腰部に過度の負担を与えないようにする。</u>
173	113	1(3) 検索救助訓練 (1)⑤	<u>ロープの確保は、張らず緩めずとする。</u>	進入前に救助者及び確保者の合図要領を確認するとともに、ロープは、張らず緩めず確保する。
174	113	1(3) 検索救助訓練 (1)⑥	進入及び救出時における手掌の危険防止に努める。	進入及び救出する時は、手掌を受傷しないようにする。
175	113	1(3) 検索救助訓練 (1)⑦	…踏みつけ <u>ない</u> ようにする。	…踏みつけたり、衝突しないようにする。
176	113	1(3) 検索救助訓練 (2)⑤	<u>ロープの確保は、張らず緩めずとする。</u>	進入前に救助者及び確保者の合図要領を確認するとともに、ロープは、張らず緩めず確保する。

No.	ページ	項目	修正内容	
			修正前	修正後
177	113	1(3) 検索救助 訓練 (2)⑥	進入及び救出時における手掌の危険防止に努める。	進入及び救出する時は、手掌を受傷しないようにする。
178	113	1(3) 検索救助 訓練 (2)⑦	…踏みつけ <u>ない</u> ようにする。	…踏みつけたり、衝突しないようにする。
179	114	2(3)④	進入及び救出時における手掌の危険防止に努める。	進入及び救出する時は、手掌を受傷しないようにする。
180	114	2(3)⑤	…踏みつけ <u>ない</u> ようにする。	…踏みつけたり、衝突しないようにする。
181	115	3(3)	追加	④ 障害物がある場合は、周囲の状況に注意する。
182	116	1(3)②	…使用する。	…使用する。また、状況に応じて耳栓、防塵マスクを着装する。
183	118	2(3)②	操作中は、 <u>防塵眼鏡</u> を使用する。	操作中は、 <u>防塵眼鏡</u> 、 <u>防塵マスク</u> 、 <u>耳栓</u> を着装する。